

令和元年6月定例会補正予算等の概要

1. 編成概要

今回の補正予算では、子育て環境の更なる充実をはじめ、国、県の補助金などを有効に活用し、市民の安全・安心の確保や都市基盤の整備のほか、地域経済の活性化や国際交流の推進など、引き続き公約や総合計画の将来都市像の実現に向けた諸施策の推進を図る。

まず、少子化対策の一環として、子ども医療費の助成を中学3年生までの通院費に拡充し、子育て家庭の経済的負担を軽減するとともに、病気の早期発見や治療を支援する。さらに、入会児童が増加している東雲児童クラブの環境を改善するため、東雲小学校と小中連携に取り組んでいる東中学校の施設を一部改修し、児童クラブ室として活用する。

また、平成30年7月豪雨災害での経験を生かし、災害時に消防団が効果的な救助活動を行えるよう、チェーンソーなどの資機材を各分団に配備する。さらに、自主防災組織への支援や女性消防職員の活躍推進に取り組むほか、神浦地区の漁港で高潮対策工事を進めるなど、市民の安全・安心を一層確保する。

次に、県都の陸の玄関口にふさわしい魅力あるまちの実現に向け、JR松山駅周辺の土地区画整理事業を着実に進める。また、松山空港のエプロン改良工事等の国直轄整備事業に対する地元負担を行う。

さらに、商店街のキャッシュレス化と共通ポイント制度の拡大に必要な機器等の整備や木材加工業者の施設整備に補助し、地域経済の活性化を図る。

加えて、台北市との友好交流協定の締結5周年と松山・台北線の定期便就航を記念し、台北市で神輿の鉢合わせの披露などを行い、両市の交流拡大と観光振興を図る。また、2020年東京オリンピックに向けて、台湾のマラソン出場候補選手の合宿を本市で実施する。さらに、NPO等との連携により、SDGs（持続可能な開発目標）の視点を取り入れた国際理解の取組等を行う。

このほか、三津浜学校給食共同調理場等の民間委託に係る業務について、債務負担行為を設定する。

2. 主な事業

(単位：千円)

(1) 子ども医療助成事業	151,556
(2) 児童クラブ室施設整備事業	30,298
(3) 非常備消防（消防団）用車両機械購入事業	3,911
(4) 自主防災組織育成業務	2,000
(5) 女性消防吏員活躍推進事業	904
(6) 神ノ浦漁港海岸高潮対策事業	62,000
(7) 松山駅周辺整備事業	630,868
(8) 松山空港国直轄整備事業地元負担金	30,708
(9) 商店街等活性化事業	14,246
(10) 林業・木材産業成長産業化促進対策事業	30,762
(11) (公財)松山観光コンベンション協会運営補助事業 (台北市との友好交流協定締結5周年記念事業)	41,490
(12) スポーティングシティまつやま推進事業（台湾マラソン選手団合宿受入事業）	3,733
(13) 国際協力・国際理解推進事業	2,926

3. 補正予算の規模

(単位：千円)

区 分	6月補正額	累 計	対前年同期伸率
一般会計	1,065,040	184,865,040	3.18%
特別会計	—	131,934,000	3.16%
企業会計	—	48,909,400	0.74%
計	1,065,040	365,708,440	2.84%
公債管理特別会計	—	23,263,200	
合 計	1,065,040	388,971,640	

4. 議案等

○承認案	3 件
○予算案	1 件
○条例案	14 件
○事件案	2 件
○人事案	1 件
(計)	21 件)
○報告	15 件